

2020年 印旛特別支援学校 「地域との交流」

印旛特別支援学校は、印旛特別支援学校本校とさくら分校において、「夢や目標の実現を目指し、健康でたくましい児童生徒の育成を図る。」ことを学校の教育目標とし、ユネスコスクール加盟から3年間、本校においてはESDを『地域との交流と発展、発信』と捉え、さくら分校において今年度はESDを『生徒が主体の防災教育』と捉えて活動を進めてきた。ESDの実践を通して、地域との交流や、自助・共助の力を養い、発達段階に応じた地域との連携や主体的に考える力の育成を目標とした。

印旛特別支援学校（本校）「地域との交流」

具体的には、小学部、中学部、高等部の全ての学部で、地域との交流学习を柱に計画を行った。コロナ渦の中、実施できないものもあったが①地域と主体的に関わる活動②近隣大学の関係者を呼んでの交流と活動に取り組んだ。

①地域と主体的に関わる活動

全校行事である「クリーンいんば」では、近隣の清掃活動を行った。感染予防対策のため、地域の方々との直接的な交流は無い形での実施とした。しかし、生徒からは「近くにこんなにお家があるんだね」と学校の周囲へ目を向けたり、「きれいになって良かった」と達成感を感じたりする機会になった。拾ったゴミを分別して校内で回収しており、可燃物と不燃物を考え、教師と一緒に分別を考える生徒の姿も見られた。

②近隣大学の関係者を呼んでの交流と活動

中学部では、近隣の大学との共同授業として、大学生とテント張りや野外調理などの活動を行っている。5年目を迎え、互いに定着してきている活動である。今年度は多くの学生が中心となって行うような例年通りの形は実施しなかった。今年度は、近隣大学でアウトドアゼミの担当をしている方を1名、「アウトドアの達人」として招き、活動を通して地域の発見やアウトドアの楽しみ方などを学ぶ単元を行った。近隣の大学についての紹介や秋の植物あつめで地域の環境や特性に目を向ける良い機会となった。

来年度への取り組みについて

本校、さくら分校共に来年度も今年度の計画をベースに予定している。感染予防策を講じた上で、実現可能な範囲で行いたい。「新しいことを更に広く」より「今まで行ったことの深化、継続」に重きを置く。地域の方々との交流に関しても、直接的な関わりについては状況を判断して活動の実施可否を決定する。

- ①小学部 近隣小学校との交流学习
- ②中学部 近隣中学校との交流学习、近隣大学との共同授業
- ③高等部 現場実習
- ④全校行事 いんば祭り、クリーンいんば、よしきりフェアなどの行事

2020年 印旛特別支援学校さくら分校 「生徒が主役の防災教育」

・ESD実践の取り組み内容

さくら分校では、平成28年度から、一斉避難訓練等の学習と合わせて、生徒が主体的に学ぶ機会を設け「防災の学び」の日を設定している。1日を通しての学習で、授業を全て防災に関連付けた学習を行っている。

今年度は、総合的な探究の時間の授業の位置付けとして、9月から各学年に分かれて調べ学習を進め、成果発表として10月に防災の学びの日を設定した。1年生は災害時の生活をテーマに、避難生活について調べ学習をした。2年生は、災害にはどんな種類があるかをテーマに、地震・水害をメインに、自分たちが経験した被災体験や、地域での様子について調べた。3年生は、災害をより深く知るテーマに、避難所でのストレスケアや県内の被災状況などを調べた。防災の学びの当日は、全体会場を広く取り、各学年1時間ずつ、ブース形式で学習の発表をしたり、全員参加型のレクリエーションゲームやクイズをしたりした。どの学年も工夫を凝らし、防災グッズやエアーマットに触れたり試したりして避難時の生活を意識できるようにすることや、パソコンを使用して資料作りや、地層が沈み込むアニメーションを作成するなど、さまざまな形式で発表を行なった。

喫食体験も行い、時間を合わせてシェイクアウト形式の訓練をするなど、生徒が自分たちで展開することでより主体的な学習を進めることができた。

今年度の取り組み

	テーマ	内容	学習形態
1 時間目		発表の準備、会場設営、全体打ち合わせ	一斉
2 時間目	・1年生発表 「災害時の生活」	非常食を知ろう／避難所での生活・ベッドの寝心地／防災グッズの使い方、着火体験／リラックスストレッチや負傷者の運搬方法	4グループ ブース発表
3 時間目	・2年生発表 「災害の種類」	地震の大きさや規模について／水害等における避難指示の種類／千葉県の水害状況と各地の様子／地震のメカニズムについて	4グループ ブース発表
4 時間目	・3年生発表 「災害と向き合う」	災害についてのまとめクイズ／YES・NOで自分の考えを話し合おう／避難所でもできる簡単ゲーム	全員参加
昼	災害時の喫食体験	水で作るカップ麺／常温カレーの試食体験 乾パンの試食体験	各教室
5 時間目	・防災訓練 ・SOS手帳について	シェイクアウト訓練に準じる防災訓練 学校版SOS手帳の使用方法和書き込み	各学級
6 時間目	・まとめ学習	防災学習の振り返り	各学級

・成果及び課題

これまでの防災学習は、全職員が何らかの授業を展開するという形から、1日だけでなく、総合的な探究の時間が生徒にとっては良い学びの機会となり、主体的な学びを広げることができた。新しい生活様式の中で、発表の形式や展開には制限があったが、それぞれに工夫をすることができた。

一方で、各学年でテーマの固定があった中、自分の興味関心をもとに学びを深められるような編成や、3年間のサイクルも意識したテーマの設定なども検討をし、学習計画を立てていきたい。